

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和01年12月24日

計画の名称	人にやさしく快適な都市環境づくり（鉄道関連）												
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	福井県, 福井市												
計画の目標	既存の鉄軌道ストックを活用したLRTの高頻度運行によって、高水準の公共交通サービスを提供する公共交通幹線軸の主軸を形成し、誰もが安全で安心して快適に生活できる都市づくりを推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,092	A	1,012	B	0	C	80	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	7.32	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H30末)
1	相互乗り入れ区間における、電車の運行本数を増加させる。 相互乗り入れ区間における電車の運行本数を、整備前と整備後で比較する。 (1時間当りの電車の運行本数の増加) = (整備後の1時間当りの電車運行本数 - 整備前の1時間当りの電車運行本数)	2本/時	3本/時	3本/時
2	福井鉄道駅前線延伸・短絡線の整備により、公共交通結節の強化を図り、福井駅前電停の利用者を増加させる。 福井駅前電停の1日あたりの利用者数を、整備前と整備後で比較する。当初：(H24当初) 中間：(H28末) 最終(H30末) (1日当りの利用者数の増加) = (整備後の1日当りの利用者数 - 整備前の1日当りの利用者数)	881人/日	1039人/日	1039人/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市交通	一般	福井県	間接	えちぜん鉄道(三ヶ)	-	-	えちぜん鉄道・福井鉄道相互乗り入れ事業	鉄道駅改修 N=6駅	福井市						215	-	
	A13-002	都市交通	一般	福井市	間接	えちぜん鉄道(三ヶ)	-	-	えちぜん鉄道・福井鉄道相互乗り入れ事業	鉄道駅改修 N=6駅	福井市						162	-	
	A13-003	都市交通	一般	福井市	間接	福井鉄道(民間)	-	-	福井鉄道軌道区間整備事業	駅前線延伸 L=143m	福井市						211	-	
	A13-004	都市交通	一般	福井県	間接	福井鉄道(民間)	-	-	駅前線短絡線整備事業	線路敷設 L=30m	福井市						45	-	
	A13-005	都市交通	一般	福井市	直接	福井市	-	-	田原町駅周辺整備事業	鉄道駅周辺整備 A=0.15ha	福井市						195	-	
	A13-006	都市交通	一般	福井市	間接	福井鉄道(民間)	-	-	えちぜん鉄道・福井鉄道相互乗り入れ事業(電停改良)	電停改修 N=1駅	福井市						184	-	
												小計						1,012	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 福井県において評価を実施	事後評価の実施時期 事業完了後
	公表の方法 福井県のホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・えちぜん鉄道・福井鉄道相互乗り入れ事業により、福武線越前武生駅～三国芦原線鷲塚針原駅(L=26.7km)において、運行時間の短縮(80分→60分)、運行本数を増加したことで、通勤・通学等の利便性が大きく向上した。その結果、相互乗り入れする利用者は大幅増加(H27:49,113人→H30:157,998人)するとともに、福井鉄道・えちぜん鉄道の路線全体の利用者増加にも効果が波及した。 ・福井鉄道軌道区間整備事業により福井鉄道駅前線を福井駅西口交通広場へ延伸することで、交通結節機能が強化され、福井駅前電停の利用者も増加した。 ・田原町駅周辺整備事業により、駅利用者の安全性、利便性を向上させ、相互乗り入れ事業の効果を高め、えちぜん鉄道及び福井鉄道の利用者増加が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	-
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・未整備の駅前線短絡線については、関係者による協議を継続していく。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	指標（相互乗り入れ区間における、電車の運行本数を増加）	
	最終 目標値	3本 / 時
	最終 実績値	3本 / 時
2	指標（福井駅前電停の利用者を増加）	
	最終 目標値	1039人 / 日
	最終 実績値	1052人 / 日